

登録番号	氏名	分野			内容	場 所		プログラム名	内 容	所要時間 (分)	対 象					派遣対応地域	備考(準備物等)	オンライン対応	
		事業	生活	自然		室内	野外				小学	中学	親子	一般	東予				中予
2001022	小池 正照		○		学習会		○	古紙回収工場見学会	回収された紙が持ち込まれる工場の様子や作業を見学し、リサイクルルートがどうなっているか、どう処理されているかを学びます。	60~90	○	○	○	○		○	※工場(松山市)へ来られる方	検討中	
2001022	小池 正照	○			講演		○	事業所から発生する紙のリサイクルを考える	事業所ごとの紙くずや機密書類のリサイクルについて学習します。えひめエコリーグの取組についても紹介します。	90					○	○		検討中	
2001022	小池 正照		○		講演		○	紙の分別方法やリサイクルについて考える	家庭の可燃ゴミを減らす紙の分別方法や紙リサイクル全般について学習します。	60~90	○	○	○	○	○	○		検討中	
2001024	小林 真吾			○	学習会		○	海辺の生物観察(昼、夜)	砂浜や干潟、磯などの海岸で、生物の観察を行う。	60~90	○	○	○	○	○	○		場所:事前に打ち合わせが必要 準備物等:野外で活動できる服装	
2001024	小林 真吾			○	学習会		○	海岸漂着物の観察	海岸に流れついている様々なものを観察しながら、海の生き物や漂着ゴミについて学ぶ。	60~90	○	○	○	○	○	○		場所:事前に打ち合わせが必要 準備物等:野外で活動できる服装	
2001024	小林 真吾			○	学習会		○	海藻のおしば作り	身近な海に生息する海藻を材料として、おしばのハガキ作りを行いながら、海の環境と生物について学ぶ。	60~90	○	○	○	○	○	○		場所:準備物等:事前に打ち合わせが必要	
2001032	竹内 よし子		○		学習会		○	グローバル・ローカルかるた	さまざまな社会課題(環境・国際・平和・貧困・人権等)をかるたを使って理解し、意見交換・議論するワークショップ	60~120	○	○	○	○	○	○		かるたは貸出無料。送料は実費負担お願いします。	○
2001032	竹内 よし子	○	○		講演		○	SDGs推進	SDGs(持続可能な開発目標、2016~2030年)の動向について説明し、四国の取り組み事例を紹介する。	60~120	○	○	○	○	○	○		プロジェクター等	○
2001042	藤田 孝一	○			学習会		○	環境マネジメントシステム内部監査員教育	ISO14001:2015 内部監査員の養成及びレベルアップのための集合教育	420					○	○	○	液晶プロジェクター	○
2001042	藤田 孝一	○			学習会		○	労働安全衛生マネジメントシステム内部監査員教育	ISO45001:2015 内部監査員の養成及びレベルアップのための集合教育	420					○	○	○	液晶プロジェクター	○
2001042	藤田 孝一	○			講演		○	EMSとQMS統合システム構築	環境マネジメントシステムと品質マネジメントシステムの共通点と相違点、統合システムのメリット・デメリットについて	180					○	○	○	液晶プロジェクター	○
2001042	藤田 孝一	○			講演		○	EMSとOHSMS統合システム構築	環境マネジメントシステムと労働安全衛生マネジメントシステムの共通点と相違点、統合システムのメリット・デメリットについて	180					○	○	○	液晶プロジェクター	○
2001042	藤田 孝一	○			講演		○	EMSとその他のマネジメントシステムの統合	環境マネジメントシステムと他のマネジメントシステムの統合(複数システム統合)	180					○	○	○	液晶プロジェクター	○
2001043	松井 宏光			○	学習会		○	身の回りの植物を学ぶ	里地の植物について、特徴や人との関わりについて、実物を見ながら講演を行う。	90~120	○	○	○	○	○	○			
2001043	松井 宏光			○	学習会		○	身の回りの植物で遊ぶ	里地の植物を使った遊びを参加者が体験する。	90~120	○	○	○	○	○	○			
2001043	松井 宏光			○	学習会		○	身の回りの植物を食べる	里地の植物を摘んで実際に調理をして食べてみる。	90~120	○	○	○	○	○	○			
2001043	松井 宏光			○	講演		○	絶滅危惧種を守る	愛媛県の絶滅危惧種について紹介し、絶滅に至る要因も考える。	90~120			○	○	○	○			○
2001043	松井 宏光			○	講演		○	森林や草木の生態	森林の生い立ちや植物の生存戦略について扱う。	90~120			○	○	○	○			
2001043	松井 宏光			○	講演		○	生物多様性と人間	各種生態系サービスの紹介と人間生活との関わりを扱う。	90~120			○	○	○	○			
2001046	水本 孝志	○			学習会		○	緑のお宝探し自然環境図鑑	足元のお宝探しの(地元学)の発想で、地域の子どもたちや住民の皆さんと大いに歩き、巨樹銘木実測調査の記録や「無名百低山巡り」「野歩き道草塾」等で撮影した写真を基礎資料に、郷土愛溢れる「自然環境図鑑」づくりを各地で展開しています。	120~180	○	○	○	○	○	○		あればカメラとメモジャー	
2001046	水本 孝志		○		学習会		○	渚の納得清掃会ビーチコミング	海洋を懸命に浄化している生物の観察→漂着物の分別回収→ゴミの脅威解説の手順で、全ての人工廃棄物が最後には川へ入り込み海に集結し、やがて地球全体を汚染する様子を現場体験して頂き、「ゴミを出さない春し」の大切さを啓発中です。	120~180	○	○	○	○	○	○		あれば箱メガネとゴミ入れ袋	
2001046	水本 孝志			○	学習会		○	さんきら自然薬校	植物と昆虫と野鳥と人の《命の繋がりを観察会》を提唱...身近な生物を優れた「環境指標」として捉え、地球における彼らの素晴らしい「役割」と「共生関係」を科学的に紹介しつつ、乱開発や盗掘で追い詰められた「声なき声:SOS」を広く訴えています。	120~180	○	○	○	○	○	○		あれば、双眼鏡と虫眼鏡	

登録番号	氏名	分野			内容	場 所		プログラム名	内 容	所要時間 (分)	対 象				派遣対応地域			備考(準備物等)	オンライン対応		
		事業	生活	自然		室内	野外				小学	中学	親子	一般	東予	中予	南予				
2003006	丸橋 温			○	学習会	○		生き物の不思議	昆虫の多様性について 昆虫の系統樹について 昆虫の相互関係について	90~120	○	○	○						○		
2003006	丸橋 温			○	学習会	○		川の生きもの調べ	きれいな水と汚れた水について 水と水生生物について 具体的な関係について	90~120	○	○	○						○		
2003006	丸橋 温			○	学習会	○		水生昆虫から見た水質調べ	川の物理的な環境調べ 川の水生生物の取り方と採集 水生生物から見た川の水の汚れについて	150	○	○	○						準備物について事前に打ち合わせ必要		
2003006	丸橋 温		○		講演	○		節約生活の勧め	地球温暖化について 未来の地球について 今できる節約生活について	90~120			○						○		
2003006	丸橋 温			○	講演	○		外来生物を考える	外来生物の具体的な例示 その危険性について 私達の行動変化	90~120			○	○					○		
2003006	丸橋 温			○	講演	○		自然再生について	生物の関係の例示 生態系について 何をどうすべきか	90~120			○	○					○		
2003006	丸橋 温			○	講演	○		環境問題最近の話題	水の争奪戦争 フードマイレージ・フェアトレード 環境ホルモン等	90~120			○	○					○		
2005002	北岡 一郎	○	○		講演	○		物流設備の問題点	物流は効率アップ。運搬機、車両の問題点。保管設備の問題点・・・安全と省エネ。	30					○	○		OHP	○		
2006001	河合 洋一	○			学習会	○		環境マネジメントシステム	企業等における環境取組の方法について、エコアクション21を中心に社内環境管理の仕組みを解説します。	60~120				○	○	○			パソコン、プロジェクター		
2006003	松田 久司			○	学習会	○		早春におたまじゃくしを観察しよう	ヤマアカガエルやニホンアカガエルが、早春に産卵しています。そのおたまじゃくしの体のひみつを観察します。室内も借りられれば、実体顕微鏡でより細かく観察できます。	120	○	○	○	○					○	田んぼや水路 長靴や寒いので防寒 具等	
2006003	松田 久司			○	学習会	○		ホタル生態観察	ゲンジボタルやヘイケボタルを観察しながら、その生態を解説します。室内も借りられれば、写真を用いて詳しく解説できます。	120	○	○	○	○					○		
2006003	松田 久司			○	学習会	○		セミの抜け殻調べ隊	セミの抜け殻を探しながら、種類の見分け方などを解説します。室内も借りられれば、写真を用いて詳しく解説できます。	120	○	○	○	○					○	フィルムケースがあれば抜け殻が壊れにくい	
2006003	松田 久司			○	学習会	○		バードウォッチング	冬の田んぼ、ため池周辺、林など、場所や季節に応じて、野鳥を観察し、その生態を解説します。	120	○	○	○	○					○	あれば、双眼鏡	
2006003	松田 久司			○	学習会	○		水生生物の観察	小学4年生で行われる水生昆虫などの観察を行います。小学4年以外でも、幼稚園(保護者と一緒)から高校生までを対象として実施した実績があります。	90	○	○	○	○					○		
2006003	松田 久司			○	講演	○		早春に産卵するアカガエル類の生態	ヤマアカガエルやニホンアカガエルが、早春に産卵しています。その卵塊調査は水辺の指標になるといわれており、継続している調査のようすも解説します。	90			○	○					○	プレゼン・ソフトが動作するPCなど	
2006003	松田 久司			○	講演	○		生きものが復活できる水路整備の提案	現在の水田は水路と間を、魚が行き来できにくくなっていますが、それを改善した事例を紹介します。	90			○	○					○	プレゼン・ソフトが動作するPCなど	
2006004	中村 優理子			○	学習会	○		地球温暖化の基礎知識+リサイクル工作	「地球温暖化」をIPCCの最新の報告書に基づいて基礎から優しく学ぶ学習会(クイズ形式)です。リサイクル工作(紙すきや自然物を使った工作など)をご希望の場合はご相談ください。	40~80	○	○	○	○	○				○	プロジェクター、スクリーン、PCなど(なければ資料で説明します)。工作の場合はハサミなど。	
2006004	中村 優理子			○	学習会	○		食品ロスの現状と対策	まだ食べられるのに捨てられている食品ロスの現状や課題について勉強します。冷蔵庫の整理ポイントや食品ロスを減らすレシピ、フードバンクやフードドライブについてもお話します。	40~120	○	○	○	○	○					○	プロジェクター、スクリーン、PCなど(なければ資料で説明します)
2006004	中村 優理子			○	学習会	○		プラスチックと環境問題	2050年には海を漂うプラスチックの量が魚の量を超えと言われるおそれ、世界中で問題になっている海洋プラスチックごみ問題。プラスチックと賢く付き合う「プラスチックスマート」について基礎からお話します。松山市内の場合はプラスチックのごみ分別や分別後のリサイクルについてのお話可。	40~120	○	○	○	○	○					○	プロジェクター、スクリーン、PCなど(なければ資料で説明します)
2006004	中村 優理子			○	学習会	○		ビーチクリーン	海岸で清掃活動を行います。海洋ごみに関するクイズや集めたごみの分析を行います(分析については国際的な手法(JEAN提供)とします)。また、プラスチックと賢く付き合う「プラスチックスマート」について基礎からお話します。松山市内の場合はプラスチックのごみ分別や分別後のリサイクルについてのお話可。	40~120	○	○	○	○	○					○	集めたごみの処分を各自自治体と相談してください。
2006005	中村 優理子			○	学習会	○		ごみのお話+リサイクル工作	ごみ分別やごみ減量、リサイクルについてお話します。リサイクル工作(紙すきや自然物を使った工作など)をご希望の場合はご相談ください。	40~81	○	○	○	○	○					○	プロジェクター、スクリーン、PCなど(なければ資料で説明します)。工作の場合はハサミなど。
2006005	中村 優理子			○	学習会	○		生活の中でできる地球温暖化対策	省エネやごみの減量、リサイクル、エンカル消費など生活の中での取組についてご紹介いたします。	30~120	○	○	○	○	○					○	プロジェクター、スクリーン、PCなど(なければ資料で説明します)

登録番号	氏名	分野			内容	場 所		プログラム名	内 容	所要時間 (分)	対 象					派遣対応地域	備考(準備物等)	オンライン対応		
		事業	生活	自然		室内	野外				小学	中学	親子	一般	東予				中予	南予
2006005	中村 優理子		○	○	学習会	○		環境絵本の読み聞かせ	環境問題を取り上げた絵本やスライド(海を守るももとうろう)など読み聞かせと解説(こども向け)	15~30	○	○	○		○	○		○		
2007005	曾我 晃	○			学習会	○		ISO14001について	ISO14001の目的、認証取得の意義、効果的なシステムを考える。	60~90	○	○	○	○	○	○		○	プロジェクター	
2007005	曾我 晃	○			学習会	○		地球温暖化について	地球温暖化とは？その原因、防止のためにどのような取組みができるのかを考える。	60	○	○	○	○	○	○		○		
2007007	中村 敬治			○	学習会	○	○	原木きのこ栽培学習	毎年1月下旬に小学校等で4~5箇所実施する。環境の大切さ、菌類の役割、キノコ等について室内学習を45分間、屋外で原木への植菌実習を1時間、自宅管理用のポテンを配布し、植菌後は全て参加者が持ち帰り自宅や山林内で適正に管理、シイタケの発生が始まる11月以降から発生観察、収穫体験、食味体験をする。季節が来れば発生するので、その後3~4年間同様の体験をしてもらう。その外毎年11月には文化祭で地産地消の啓発展示をする。	120			○	○					○	日程調整等の事前協議
2008001	菊間 彰			○	学習会	○	○	プロジェクト・ワイルド	プロジェクト・ワイルドは、体験学習法を用いた環境教育プログラムです。150以上あるアクティビティの中から対象や目的に合わせてアレンジできます。	60~120	○	○	○	○	○	○		○	体を動かせるスペースが必要	
2008001	菊間 彰			○	学習会	○	○	プロジェクト・ワイルド指導者養成研修	プロジェクト・ワイルドを実施できる資格「エデュケーター」を取得できる研修です。学校の総合学習や地域での環境学習に活用できます。	480 (1日)				○	○	○		○	人数は20人程度が望ましい。	
2008001	菊間 彰				学習会	○	○	インタープリテーション体験	その土地の自然や文化をわかりやすく体験的に伝える手法を「インタープリテーション」といいます。知識をつめこむのではない「楽しい自然体験」を実施します。	60~180	○	○	○	○	○	○		○	人数は20~30人程度	
2008001	菊間 彰			○	講演	○		エコツアー入門	地域資源を生かし、環境を保全しながら行う観光のスタイルを「エコツアー」と言い、そのための考え方や、しぐみのことを「エコツーリズム」と言います。基礎からわかりやすくお伝えします。	60~90				○	○	○		○	パワーポイント、スクリーン等	
2008001	菊間 彰			○	講演	○		自然体験活動ってなに？	自然のことを「勉強」するのではなく、「体験」しそこから学ぶ「自然体験活動」のニーズが全国的に高まっています。全国の事例を紹介しながら、最先端の状況をお伝えします。	60~90				○	○	○		○	パワーポイント、スクリーン等	
2008001	菊間 彰			○	講演	○		森と人とのよりよい関係	森林率67%と、世界にほこる森林大国である日本、でも昔とちがいで、今の日本の森には元気がありません。なぜなのか？どうしたらいいかを一緒に考えましょう。ワークショップ形式での実施も可能です。	45~60	○	○	○	○	○	○		○	パワーポイント、スクリーン等	
2008005	黒田 慧史			○	学習会	○		自然観察	身近な里山、森林、河川をフィールドに、野鳥、虫、植物などの観察を実施する。	60~120	○	○	○					○	野外で活動できる服装	
2009001	高村 靖			○	学習会	○		環境ブックトーク	環境問題に関する書籍に関するブックトークを行い、理解を深め、行動のきっかけづくりします。	60~90				○	○	○		○	特になし	
2009002	谷 清			○	学習会	○		森林の動きを考えてみよう	私たちの身近にある森林をフィールドに、樹木の成長、森林土壌の保水力や落葉、落枝の生物による分解など森林の動きを理解する。	60	○	○	○	○				○	汚れてもかまわない服装で参加	
2009002	谷 清				講演	○		森林の働きと林業の問題点について学ぼう	愛媛県林業の現状と問題点を考えつつ、森林のもつ公益的機能を理解し、地球温暖化防止の役割について共に考える。	60				○	○	○		○	スライド又はOHPの準備	
2009005	村尾 卓爾	○	○		学習会	○		地球温暖化防止活動としての省エネルギー対策を知る。	地球温暖化の主原因である温暖化ガスの排出を減少させる対策として、生活の中での省エネルギーを考える。教材のモノづくり体験も行う。	90	○	○	○	○	○			○	理・技家実験室スライド、インターネット利用	
2009005	村尾 卓爾	○			講演	○		省エネルギーと地球の温暖化	エネルギー消費の現状と歴史を取り上げ、地球の温暖化の原因と対策について省エネルギー問題を主として講演する。	60	○	○	○					○	スライド、インターネット	
2009008	射手 建雄	○	○		学習会	○		エコな買い物の仕方について考えてみよう	参加型の紙芝居で旬の学び・旬産旬消とエネルギー消費・食べ物と環境へのつながりについて気づき、グループ毎に行う、カレーライス食材の買い物疑似体験とワークショップで、環境改善につなげるための食材の買い物の仕方について、自分たちに何が出来るのかを考える。	120	○	○	○	○	○			○	準備物について事前の打ち合わせが必要、20~30名程度が望ましい	
2009008	射手 建雄	○	○		学習会	○		食料自給率と地球環境影響の関係について考えよう	我が国の食料自給率低下による海外から食料輸入時のエネルギー消費・食料生産に伴う多量の水消費・輸入された食料の無駄な消費が地球環境に影響を及ぼしている現状と輸入に頼るがゆえに我が国がおかれている食料危機を参加型の学習で気づき、「食べることの新たなライフスタイルのあり方」についてのワークショップで、食料自給率向上のために自分達に何が出来るのかを考える。	120	○	○	○	○	○			○	準備物について事前の打ち合わせが必要、20~30名程度が望ましい	
2009008	射手 建雄	○	○		学習会	○	○	ソーラークッカーを作った太陽エネルギーを感じよう	地球の温暖化と調理への太陽エネルギー利用状況を学び、身近な材料でソーラークッカーを製作して、水の加熱実験・体験をする。そして、実用のソーラークッカーで加熱調理を体験し、太陽エネルギーが身近な生活に利用できることを気づかせる。	120	○	○	○	○	○			○	準備物について事前の打ち合わせが必要、20~30名程度が望ましい	
2009008	射手 建雄	○	○		学習会	○		身近な水の汚れを調べてみよう	水と人間のかかわりと身近な川の汚れの原因、そして水の浄化にもエネルギーが必要となることを参加型の学習から学び、身近な川の水と家庭から出る各種洗浄水の汚れの程度(GOD・透視度)を分析・体験し、生活の仕方について環境改善につなげるために自分たちに何が出来るのかを気づかせる。	120	○	○	○	○	○			○	準備物について事前の打ち合わせが必要、20~30名程度が望ましい	

登録番号	氏名	分野			内容	場所		プログラム名	内 容	所要時間 (分)	対象					派遣対応地域			備考(準備物等)	オンライン対応	
		事業	生活	自然		室内	野外				小学	中学	親子	一般	東予	中予	南予				
2009008	射手 建雄			○	学習会	○		お水について考えてみよう!	生き物のからだの50%以上が水できている実験や雲を作る実験と地球をめぐる水の旅ゲームとで、水について体験的に学び、雲ができない不思議さや地球上には人が生きていくために利用できる水の量に限りがあること、その量の少なさに気づいてもらう。	120	○	○	○	○	○	○	○	○	準備物について事前に打ち合わせが必要		
2009008	射手 建雄			○	学習会	○		いつもの校庭で自然探検しよう	校庭という日常の身近な環境の中で、見る・聞く・触る・嗅ぐの感覚を使うネイチャーゲームで、いつもの校庭内を探索し、楽しみながら自然をきづかせる。	120	○	○	○	○	○	○	○	○	準備物について事前に打ち合わせが必要、20~30名程度の人数が望ましい		
2010003	清家 亀幸			○	学習会	○		"Eco dream"「環境問題への新たな取り組みと挑戦」	ソーラーカー・EVカー、太陽光発電等を通し、新エネルギー開発や環境問題解決への取り組み方を考える。また、環境問題に対する意識を高め、その実用性・可能性を探る事とし、同時に環境問題解決に取り組みプログラムとして、小・中学生への啓発活動にも取り組む。	45~90	○	○	○	○	○	○	○	○	準備物について事前に打ち合わせ	○	
2010003	清家 亀幸			○	学習会	○		"Eco dream"「環境問題への新たな取り組みと挑戦」	「愛媛ベレット」の紹介。製材工場で捨てられ、燃やされたりする木くずや樹皮などの製材廃材や、山に木を植えたあとに間引く間伐材や、お金にならずに捨てられた木を粉砕、圧縮し、成形した固形燃料の有用性を紹介する。この「愛媛ベレット」は、長期間の保存・備蓄が可能で、す。「愛媛ベレット」の普及と、それに関わる技術の研究を紹介する。	45	○	○	○	○	○	○	○	○	○	準備物について事前に打ち合わせ	○
2010003	清家 亀幸			○	学習会	○	○	「藻場・アマモ場の再生保全」 「宇和海(愛媛県)ブルーカーボンプロジェクト」	ブルーカーボンで地球温暖化を防ぎ、脱炭素社会を目指すと共に、自然豊かな宇和海の藻場の再生・保全に関する具体的な技術や現状を学びます。また、域内沿岸部での生物多様化を育む環境教育の内容を実践します。	45~90	○	○	○	○	○	○	○	○	準備物について事前に打ち合わせ	○	
2010003	清家 亀幸			○	学習会	○	○	「海岸漂着物の対応策を考える」 「海洋プラスチック・マイクロプラスチックの現状とその有効活用について」	世界中でプラスチックごみの問題が注目されており、その中の1つとしてマイクロプラスチックの問題がクローズアップされている。身近な海岸でマイクロプラスチックの調査・観察を実際に行うことで、何気なく使っているプラスチック製品の環境影響の一端を知ってもらい、資源の活用やごみの処理、ごみの削減など様々な環境問題について学習します。	45~90	○	○	○	○	○	○	○	○	準備物について事前に打ち合わせ	○	
2010004	瀧野 陸志			○	学習会	○	○	身近な野鳥観察会	地域で身近な野鳥観察をすることで、地域にたくさん生きものが暮らしていることを実感できる観察会を行います。小学校の生徒でも対応可能です。	120	○	○	○	○	○	○	○	○	双眼鏡(ない場合でも20台貸し出せます)		
2010004	瀧野 陸志			○	学習会	○	○	シジュウカラやヤマガラス用の巣箱設置	樹洞が減っている場所でシジュウカラやヤマガラス用の巣箱を設置して、身近な自然に興味を持つための活動を行います。小学校の生徒でも対応可能です。設置した冬の前には、使用状況やメンテナンスの仕方についての活動を行うこともできます。	120	○	○	○	○	○	○	○	○	脚立、ノコや差し金など(ない場合でもある程度貸し出せます)		
2010004	瀧野 陸志			○	学習会	○	○	写真でチェック 地域でくらす身近な野鳥	見分けられないで気づいていない自分たちの地域で暮らしている身近な野鳥の特徴や見分け方を写真で紹介し、「身近な野鳥観察会」の雨の時のプログラムとしても使えます。	60	○	○	○	○	○	○	○	○	パソコン、プロジェクター、スクリーン		
2010005	年森 恭子			○	学習会	○	○	食事と環境	地産地消、旬産旬消、フードマイルージやバーチャルウォーカーなど、食に関わる環境知識の講座。	40~60	○	○	○	○	○	○	○	○	人数、時間、対象、ご希望などは電話で打ち合わせ		
2010005	年森 恭子			○	学習会	○	○	自然を愛する俳句を作ろう	自然環境のミニ講義のあと季節を想定して俳句で残す。	45	○	○	○	○	○	○	○	○	人数、時間、対象、ご希望などは電話で打ち合わせ		
2010006	濱口 英之			○	学習会	○	○	エネルギーを学ぶ工作	LEDや太陽電池を利用して、工作を行い、省エネルギーなどについて学び、地球温暖化防止に関する理解を促します。	90~120	○	○	○	○	○	○	○	○	材料費が必要となりますので事前にご相談下さい。		
2010006	濱口 英之			○	学習会	○	○	自然エネルギーを体験しよう	ソーラーカーの利用体験などを通じて、くらしの中のエネルギーについてや地球温暖化防止などについて学びます。	45~120	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2010006	濱口 英之			○	学習会	○	○	リサイクルメッセージカードをつくろう	古紙をリサイクルして、メッセージカードづくりを体験することで、リサイクルやエネルギー利用について学び、地球温暖化防止に関する理解を促します。	45~120	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2010006	濱口 英之			○	講演	○	○	これからはじめるエコ活動	地球温暖化防止についての基礎的な内容や自分たちで環境学習をはじめためのポイントなどを紹介します。	45~120	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2010006	濱口 英之			○	講演	○	○	地球温暖化防止とエネルギー	温暖化の影響や私たちが行うことのできるとりくみを紹介しながら温暖化防止や私たちが利用しているエネルギーについて学びます。	45~90	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2011001	窪田 聖一			○	学習会	○	○	昆虫採集教室	昆虫採集を通じて、愛媛県の生物多様性を実感してもらう。昆虫の採集、採集した昆虫の標本作りを行う。	180	○	○	○	○	○	○	○	○	○	レクレーション保険、事前打合せ必要	
2011001	窪田 聖一			○	学習会	○	○	チョウ類モニタリング調査	環境省のチョウ類モニタリング調査の手法を学ぶことで、生物多様性の調査手法をマスターする。	120	○	○	○	○	○	○	○	○	○	レクレーション保険、事前打合せ必要	
2011001	窪田 聖一			○	学習会	○	○	オオムラサキ観察会	国産のオオムラサキが雄大に飛んでいる姿を観察し、愛媛県の自然環境を実感してもらう。	120	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前打合せ必要	
2011001	窪田 聖一			○	講演	○	○	愛媛県のチョウ	愛媛県に生息するチョウの概要や、絶滅危惧種の状況について学び、生物多様性の実態を理解してもらう。	60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、パソコン、スクリーン	
2011001	窪田 聖一			○	講演	○	○	愛媛県の昆虫	愛媛県に生息する昆虫の概要や、絶滅危惧種の状況について学び、生物多様性の実態を理解してもらう。	60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、パソコン、スクリーン	

登録番号	氏名	分野			内容	場所		プログラム名	内 容	所要時間 (分)	対象				派遣対応地域			備考(準備物等)	オンライン対応
		事業	生活	自然		室内	野外				小学	中学	親子	一般	東予	中予	南予		
2013004	高橋 佐智子			○	学習会	○	○	森につながる楽しい時間	年齢、場所、人数、時間に合わせて対応します。「わくわく、どきどき、わいわい」心動く時間、空間をつくり、その中で様々な感じ方から、自分と森とのつながりをつくってもらい、木のおもちやで遊んだり、トントンゴキゴキしたり、お絵か木や絵本…要望に合わせてながら、木の絵本で森の循環のこころを知ってもらおう。	90~120	○	○	○	○	○	○	○	出張もしくは榊大五木材での実施	
2013004	高橋 佐智子			○	学習会	○	○	自然遊び	自宅周辺、普通の公園でも幼い子どもを先生にすると、自然とのふれあいを楽しく始めることができます。そういったことを教えるのではなく、感じてもらう時間、空間をつくります。	60~120			○				未就学の子どもが対象。出張もしくは榊大五木材での実施。出張の場合は下見が必要		
2013005	平原 拓			○	学習会	○	○	さとうみ・さとうま探訪～身近な自然にふれてみよう	身近な海浜、里山・里地などにおける生き物観察、ネイチャーゲームなどを通じて、自然の仕組み、生物の多様性、自然と人間との関わりについて考えます。	90~120	○	○	○		○	○	事前調査、準備物の打合せが必要		
2013005	平原 拓			○	学習会	○	○	プロジェクト・ワイルド	アメリカ生まれの環境教育プログラム「プロジェクト・ワイルド」から、楽しみながら自然について学ぶアクティビティ(活動)を実施します。	60~90	○	○	○	○	○	○	事前調査、準備物の打合せが必要		
2013005	平原 拓			○	講演	○	○	人間・環境・地球～エコ活動をはじめよう	人間の経済活動、生活と環境との関わり合いについて、身近な問題やグローバルな視点から考えるトピックを提供し、環境保全のためにアクションを起こすきっかけを示唆します。	60~90	○	○			○	○	準備物の打合せが必要		
2013005	平原 拓			○	講演	○	○	みること、感じること～自然観察へのいざない	R・カーソンの『センス・オブ・ワンダー』ほかを教材に読書会を行い、「知ることも感じることも」に力点をのいた自然観察の基本原則について概説します。	60~90			○	○	○	○	準備物の打合せが必要		
2013006	水口 定臣			○	講演	○	○	企業における環境保全について	公害や廃棄物等の環境規制状況の推移や現状について解説し、今後取るべき環境保全対策について講演する。	60~120					○	○	○	プロジェクター	○
2013006	水口 定臣			○	講演	○	○	えひめの環境	愛媛県内の環境や、廃棄物の過去からの推移や現状について解説し、現在の対策と今後の展望について講演する。	60~120	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター	○
2014001	後藤田 直良			○	学習会	○	○	段ボールコンポストによる生ごみの堆肥化の方法	段ボールコンポストを使って生ごみを処理し、堆肥化する方法。(実演、ワークショップにて実施)	60~90			○	○	○	○	○	パワーポイント、プロジェクター、段ボールコンポスター式	○
2014001	後藤田 直良			○	講演	○	○	ごみ減量に関する教育	ごみ分別と3Rについて ①実際のゴミを使っている分別クイズ ②3Rの内容と新居浜の取り組み事例紹介 ③ごみ減量の実践活動について	60~90	○	○	○	○	○	○	○	パワーポイント、プロジェクター	○
2014002	加藤 忠一			○	学習会	○	○	生ごみのたい肥化によるごみ減量化を推進する	生ごみのたい肥化の方法を指導する。ダンボールコンポスト、振付けコンポスト、水切りバケツなどの選択範囲を広げ、たい肥による野菜、花造りへと楽しみを広げる。	60					○	○	○	10~20名程度	
2014004	西尾 知照			○	学習会	○	○	サンゴの海の生き物たち	宇和海で撮影した水中写真やサンゴ等の標本を使って、生き物たちの不思議な生態について学習します。また、サンゴを中心として成り立っている生物多様性及びサンゴの保護活動についても紹介します。	45~90	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、スクリーン、パソコン	
2014005	松田 孝一			○	学習会	○	○	生ごみのたい肥化	生ごみたい肥化方法のコツと、生ごみたい肥の活用方法を説明します。	60	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター	
2014005	松田 孝一			○	講演	○	○	公害の歴史と環境管理の必要性	公害は発生してから解決するまでには非常に長い時間がかかっています。今までのような公害が発生したのか、今後生活環境をどう改善すれば良いのか考えていきます。	60	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター	
2014006	清水 正憲			○	学習会	○	○	太陽光発電所の実際	太陽光発電のしくみを説明、実際の発電データを開示してメリット、デメリットを示します。。	30			○	○	○	○	○	液晶プロジェクター、接続ケーブル(PC)	○
2014006	清水 正憲			○	学習会	○	○	我家で出来る省エネルギー	家庭でのエネルギー消費量を理解して省エネルギーの進め方を考えてゆきます。	40			○	○	○	○	○	液晶プロジェクター、接続ケーブル(PC)	○
2014006	清水 正憲			○	学習会	○	○	自家用車の省エネ	電気自動車での省エネを考察してCO2排出量を少なくする方法を考えます。	30					○	○	○	液晶プロジェクター、接続ケーブル(PC)	○
2014006	清水 正憲			○	ワークショップ	○	○	プラリサイクル 手作り万華鏡	『手作り万華鏡』プラリサイクルの芽を育てよう！捨てるから宝物に	60	○						○	液晶プロジェクター、接続ケーブル(PC)	
2014007	藤井 祐大			○	学習会	○	○	みつけて はっけん!	自然を歩いてみたい！だけど何をしたらいいの？子どもに土や緑をさわらせてあげたいけど少し不安だな。ゲームやあそびを通して自然を好きになる「きっかけ」をお届けします。	要相談			○				○	野外で活動できる服装 20名程度	
2014008	高橋 孝昭			○	学習会	○	○	家庭での生ごみ堆肥作り	ダンボールコンポスト等を使用して台所から出る生ごみを堆肥にする意義と方法を学び、得られた堆肥で花や野菜を栽培する方法を学ぶ。	60					○	○	○		
2014008	高橋 孝昭			○	講演	○	○	エコビープルになって環境問題に取り組もう	「環境社会検定試験(eco検定)」の合格者を「エコビープル」と呼びます。検定を受験する過程で色々な環境問題を学ぶことを伝え、環境に関心を持ってもらう。	40					○	○	○		
2014009	武知 悦子			○	学習会	○	○	エネルギーって何？！エネルギー今昔物語	電気エネルギーによって便利な現代と電気エネルギーのなかった江戸のくらしを比べながら、エネルギーについて一緒に考えよう。腹話術の人形くぐりも一緒に考えます。	30~40	○	○	○	○	○	○	○	長机、事前打ち合わせ必要	○

登録番号	氏名	分野			内容	場 所		プログラム名	内 容	所要時間 (分)	対 象				派遣対応地域			備考(準備物等)	オンライン対応
		事業	生活	自然		室内	野外				小学	中学	親子	一般	東予	中予	南予		
2016003	横内 薫	○			講演	○		地球温暖化防止	地球温暖化の原因と経過などを抑制するにはどうすればよいか	120	○	○	○	○	○	○	○	ボード撮影機	○ (土・日希望)
2016004	薦田 敏良			○	学習会	○		森の工作教室(室内)	自然木の小枝を使って、昆虫や動物、恐竜のおもちゃ、木のバッチ、ストラップなどを作ります。自然木と触れ合うことを通じて、森への関心を高めます。	90	○	○	○	○	○	○	○	15名～30名程度、準備物は要相談	
2016004	薦田 敏良			○	学習会	○		森の工作教室(野外)	公園や森に落ちている木の葉や落ち葉、松ぼっくりを拾い集めて、ネイチャークラフトに挑戦します。木の名前や木の特徴を知り、森林を体感できる時間を作ります。	120	○	○	○	○	○	○	○	公園・緑地など、実施場所は要相談	
2016004	薦田 敏良			○	学習会	○		林業・里山体験教室	森林・里山・竹林に出かけ、間伐等作業見学、タケノコ採り、竹の切だし体験、竹工作、杉枝リース作りなどを通して、森と人のかかわりの歴史と一緒に考えていきます。	120	○	○	○	○	○	○	○	森林・里山など、実施場所は要相談	
2016005	白石 成行			○	学習会	○		水生昆虫の採集と水質判定	河川に生息する底生昆虫を採集し、同定することで、川の水質を判定し、川の生物を守り、増やそうとする意識をもたせる。	90	○	○	○	○	○	○	○	川に入れる服装 人数により採集道具	○
2016005	白石 成行			○	学習会	○		海浜植物を調べよう	浜辺に生息する海浜植物を観察し、種類と生育の仕方を知ることで、海岸の自然を守ろうとする心を育てる。	60	○	○	○	○	○	○	○	海浜植物が生えている砂浜	○
2016005	白石 成行			○	学習会	○		チョウトンボを調べよう	身近に生息するチョウやトンボの種類を調べることを通じて、幼虫が食べる植物や底生昆虫を知り、自然に親しむ。	60	○	○	○	○	○	○	○	30名程度の人数	○
2016005	白石 成行			○	学習会	○		地層の露頭の観察と化石観察	人里近くで見られる露頭の観察を通して地質構造を調べるとともに現地で見られる化石から、過去の自然環境を知る。	120	○	○	○	○	○	○	○	岩石ハンマー、ルーペ	○
2016005	白石 成行			○	講演	○		タガメの保護と飼育方法	水生昆虫で最も大型のタガメの生態や生息の様子を知り、生息に必要な自然環境や繁殖方法について考える。	60	○	○	○	○	○	○	○	PC・プロジェクター・スクリーン	○
2016006	光澤 安衣子			○	学習会	○	○	ミジンコ教室 —水の中のミクロの世界—	海や池のプランクトンを採集し、顕微鏡で観察する。	60～90	○	○	○	○	○	○	○	スクリーン、プロジェクタ	
2016006	光澤 安衣子			○	学習会	○		干潟の生き物観察会	西条市加茂川の干潟にすむ多様な生物を観察する。	60～90	○	○	○	○	○	○	○	長靴、スコップ、バケツ、手洗い水	
2016006	光澤 安衣子			○	学習会	○		星空教室 —季節の星空観察—	各季節にみえる星座を観察する。	30～60	○	○	○	○	○	○	○		
2016006	光澤 安衣子			○	講演	○		プランクトンの世界	プランクトンの生態や形態から、海の生態系とプランクトンの役割を紹介。	30～90	○	○	○	○	○	○	○	スクリーン、プロジェクタ	○
2016006	光澤 安衣子			○	講演	○		干潟の生き物	干潟生物の多様さや貴重さ、面白さ、西条市加茂川の環境と生物を例に紹介。	30～90	○	○	○	○	○	○	○	スクリーン、プロジェクタ	○
2016006	光澤 安衣子			○	学習会	○		星空教室 in プラネタリウム	プラネタリウムでの星空投影や天文シミュレーターを使って、天文現象や季節の星座を解説する。	30～90	○	○	○	○	○	○	○	SALJO BASEプラネタリウムの利用申請が必要	
2016007	黒河 由佳			○	学習会	○		里地・里山の自然観察会	里地・里山を歩き、農作物・雑草・雑木・人口林の様子を確認し、花が咲いているものや昆虫・小動物との関わりなど面白いものを見つけながら、その地域の自然を体感する。	60～90	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装、20名程度まで	
2016007	黒河 由佳			○	学習会	○		石鎚山の植生	西日本最高峰の石鎚山は、暖温帯林～冷温帯林～亜寒帯林が連なり、多様な植生が見られ、多様な生態系が存在することを理解する。ブナ・ミズナラ林を中心に、植生の特徴やどんな動物がすんでいるか、森林の役割などを知る。	45～60	○	○	○	○	○	○	○	スライド使用	○
2016008	近藤 浩幸			○	学習会	○		自然を感じてみよう	里山や森林公園などで、自然を観察するとともに、五感のいくつかを使って自然を体感してもらう。	60	○	○	○	○	○	○	○	20人まで、場所に寄り時間変更。	
2016008	近藤 浩幸			○	学習会	○		自然公園の散策	国や県などの自然公園を散策して、季節の変化や自然の成り立ちに気づき、自然の楽しみと保護について考える。	120	○	○	○	○	○	○	○	10人程度。条件に寄り時間変更。	
2016009	野満 里恵			○	学習会	○	○	野の草を食べよう!	野山に生える野草たちを採取して食べられる野草を見分けて、おいしい食べ方のレクチャーをします。	120	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2016009	野満 里恵			○	学習会	○	○	田植え体験	農園の田んぼで、昔ながらの手植え体験。身近な自然を感じてもらい、自分たちが普段食べているお米が育っていく姿を知ってもらう。	60～120	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2016009	野満 里恵			○	学習会	○	○	草から糸をつくる	からむしを採取して、皮をむき繊維を取り出し、乾かした後、糸にしています。	60～90	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2016010	浅原 政治			○	学習会	○		竹林整備活動	竹林整備活動を通して、里山の環境問題について考えます。また、伐採した竹を利用して飯ごう炊きやバームクーヘン作りを行い、自然の中で遊びを体験してもらいます。竹を利用した門松作りも指導します。	午前半日							○		

登録番号	氏名	分野			内容	場所		プログラム名	内 容	所要時間 (分)	対象						派遣対応地域	備考(準備物等)	オンライン対応
		事業	生活	自然		室内	野外				小学	中学	親子	一般	東予	中予			
2018001	加藤 雄也			○	学習会		○	森のようちえん体験	野外での体験活動を軸とした保育・幼児教育である「森のようちえん」。今、日本全国で広がっているこの活動を親子で体験していただきます。みんなで一緒に遊びをするのではなく、個々の興味・関心に合わせて活動します。	120			○					主)未就学児とその保護者が対象 ・野外で活動できる服装(着替えも)	
2018001	加藤 雄也			○	学習会		○	野あそび教室	身近な自然での遊び方を、季節に合わせてご紹介します。自然観察、草木染め体験、食べられる野草さがし、川遊びの指導(生きもの観察)など。	45~120	○	○	○	○				事前に打ち合わせが必要(2ヶ月前に)	
2018001	加藤 雄也			○	講演		○	森のようちえんの可能性~これからの幼児教育を考えよう~	森のようちえんの実践経験をもとに、指導者の関わり方や運営方法、活動時の子どもたちや保護者の様子などについてお話します。	90				○	○	○		スクリーン、プロジェクターが必要	○
2018001	加藤 雄也			○	講演		○	自然保護とは？生物多様性とは？	「環境問題ー生態系の破壊」という視点のもと、自然を守っていくために何が大事なのかという基本的な考え方をお話します。	90	○	○	○	○	○	○		・小学3年生~ ・スクリーン、プロジェクターが必要	○
2018001	加藤 雄也			○	講演		○	ジオパークってなんだらう？ (エコツーリズムってなんだらう？)	ジオパークとは、足下の大地や身のまわりの自然と、私たちのくらしとがどのようにつながっているのかを知る場所です。四国西予ジオパークなどの事例から、ジオパークの楽しみ方をお伝えします。	90	○	○	○	○	○	○		・小学5年生~ ・スクリーン、プロジェクターが必要	○
2018002	山崎 明博			○	学習会		○	家庭で出来るごみのリサイクルについて学ぼう	段ボール箱を使った生ごみの堆肥化の方法について、現物を使用した説明と実演により学ぶ。また、家庭ごみの分別による資源化について、その流れを理解する。	60	○	○	○	○	○	○		・20~30名程度 ・液晶プロジェクター等の準備	
2018002	山崎 明博			○	講演		○	レスポンシブルケア活動について学ぼう	地球環境問題のお話しと、レスポンシブルケア活動について学ぶ。	90				○	○			液晶プロジェクター等の準備	
2018002	山崎 明博			○	講演		○	ISO14001について学ぼう	ISO14001の概要と、取組み事例と有効性について学ぶ。	90				○	○			液晶プロジェクター等の準備	
2018003	立石 康			○	学習会		○	3Rについて考えよう	「まぜればゴミ、分ければ資源」を学習活動で推進できるよう、多様な年齢に対応できるよう準備し提供する。	60	○	○	○	○	○	○		準備物について事前に打ち合わせが必要	○
2018003	立石 康			○	学習会		○	放射線教育	身の回りの放射線について、小・中学校レベルで学習する。	120	○	○	○	○	○	○		準備物について事前に打ち合わせが必要	○
2018003	立石 康			○	学習会		○	自然エネルギー・再生可能エネルギーについて考えよう	水力発電や風力発電などの実験を通して、これからのエネルギーのあり方を考える。	60	○	○	○	○	○	○		準備物について事前に打ち合わせが必要	○
2018003	立石 康			○	講演		○	ダーウィンと私	生きのこる子どもは環境に順応できる子どもであることを、ダーウィンの生き方を通して話す。(いじめ防止教育に役立つ話)	75	○	○	○	○	○	○		パソコンにて説明する	○
2019001	武隈 善子			○	学習会		○	自然から色をいただろう！草木染めワークショップ	植物が持っている色を日常にとりいれよう。バンダナや手ぬぐい、エコバッグなど、普段使えるような小物を、草木を煮出して一緒に染め上げます。染めながら、草木や自然、色についてみんなで話します。	45~60	○	○	○	○	○	○			○
2019001	武隈 善子			○	学習会		○	自然から色をいただろう！草木染めワークショップ	薪から火をおこし、植物を煮出して染めあげます。こちらが用意したティシャツやストール、手ぬぐい、バッグなどの他、自分が染めたい物を持参し好きな物を染めたり、着なくなった物などもリユースできます。	120~180	○	○	○	○	○	○		焚き火ができる場所	
2019001	武隈 善子			○	講演		○	子どもたち親子でやる外遊び	過去、多くの子どもたちや親子で開催した、草木染めや自然を使ったもの作りなどの、外遊びについてのお話し。スライドを使い、実際の様子を見ながら、子どもにとってもっとも大切な遊ぶ、をみんなで考える。	60~90	○	○	○	○	○	○		プロジェクターを使います(要電源)	○
2019002	井上 泉			○	学習会		○	森へでかけよう	レイチェル・カーソンの「センス・オブ・ワンダー」の心に従い、森を歩き、様々な自然を発見する楽しみを体験する。	120	○	○	○	○	○	○		野外で活動できる服装で参加	
2019002	井上 泉			○	学習会		○	災害に備える植物のある暮らし	身近な植物が災害時にどのように役立つか、実習を通して学び、自然環境保護の大切さを学ぶ。	120	○	○	○	○	○	○		調理実習ができる簡単な設備	
2019002	井上 泉			○	講演		○	子ども時代の自然体験が未来を拓く	現代では、子どもたちは学校生活の中で、様々な困難な問題にぶつかり、立ち止まって動けなくなることが増えてきている。そんな子供たちが回復していくきっかけとして子ども時代の自然体験があることを学ぶ。	60~90				○	○				
2020001	児玉 武志			○	学習会		○	SDGsカードゲーム「企業の中期経営計画」作成ワークショップ	長期視点と短期視点、経営意識と環境意識変革と現状踏襲などのギャップをカードゲームを使って意識とモードを切り替える。	120				○	○	○		グループ分けできる部屋、机、イス、カードゲーム「2030SDGs」	
2020001	児玉 武志			○	学習会		○	SDGsカードゲーム「人生のゴール」の達成に向かってワークショップ	プレイヤーは、開始時に配られた「タイムカード」「意志のカード」「お金を元手に、様々な開発プロジェクトを実施していく。	120	○	○	○	○	○	○		グループ分けできる部屋、机、イス、カードゲーム「2030SDGs」	
2020001	児玉 武志			○	学習会		○	太陽光発電システムの製作ワークショップ	太陽光パネルの電線取り付け、コントローラーの取り付け、バッテリーの取り付けを行う。テストとして40Wの電灯をつける。	120	○	○	○	○	○	○		机、イス、太陽光発電製作キット	
2020001	児玉 武志			○	講演		○	イモが日本を救う	イモ(特にサツマイモ)はメタンガス(気体)、アルコール(液体)、乾燥チップ(固体)という形で転換でき、それぞれが天然ガス、原油、石炭の代替エネルギーとして利用できる。	90				○	○	○		机、イス、プロジェクター	○
2020001	児玉 武志			○	講演		○	農漁村力自給エネルギーの創造でまちおこし	小水力発電、太陽光発電、風力発電、バイオマス発電のポテンシャル(賦存量)を明らかにすることにより、自然エネルギーの可能性・必要性について考える。	90				○	○	○		机、イス、プロジェクター	○

登録番号	氏名	分野			内容	場所		プログラム名	内 容	所要時間 (分)	対象				派遣対応地域			備考(準備物等)	オンライン対応		
		事業	生活	自然		室内	野外				小学	中学	親子	一般	東予	中予	南予				
2020001	児玉 武志	○	○	○	講演	○		バイオマスボイラーによる空き家・古民家再生	内子町小田地区での実証実験「小田式温水床暖房システム」を事例に、木材の有効活用で、空き家・古民家の再生を考える。	90			○	○	○	○	○	○	機、イス、プロジェクター	○	
2020001	児玉 武志		○	○	講演	○		近自然河川工法と環境保護	景観がいかにわれわれの生活に重要な影響を与えているかを知り、人間の生存だけでなく、自然や動植物が生き活きと生息している環境を保護し、調和して生きてこそ、人類は大きく発展することができる。	90		○	○	○	○	○	○	○	機、イス、プロジェクター	○	
2020001	児玉 武志	○	○	○	学習会	○		竹をつかって竹あかり製作ワークショップ	放置竹林の整備から出た竹を使って、竹を自由に切手表面にドリルで絵柄の穴をあけ、LEDなどの灯かりをつける	90	○	○	○	○	○	○	○	○	機、イス、竹、絵柄、セロテープ、LEDランプ、電動チェーンソー、電動ドリル		
2020002	黒瀬 康正		○		講演	○	○	ソーラーッキング(太陽でお料理)	太陽についての講義及びソーラークッカーの製作と、それを使って実際に調理を行うことで太陽エネルギーについて理解を深める。また、ソーラークッキングの待ち時間で、太陽光による虹の実験や時計実験もオプションとして可能。	120~180 (天候による)	○	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、PC、工作ができるテーブル		
2020003	岡田 タ子		○	○	学習会	○	○	ヨガを通して、自然環境を見つめてみよう。	スローライフとは、ヨガのある暮らしと重なるところがある。自然環境とともに、スローライフをおくることで、人は環境問題にどんな役割をもてるだろうか？ひいてはヨガは…。ディスカッションやヨガも体験しつつ体感して深めよう。	90									PowerPointを映し出せる設備。ヨガマットを敷く広さがあるところ。		
2020004	吉富 博之			○	学習会		○	身近な自然を観察しよう	開催予定箇所周辺を散策し自然観察会を行う。四季を通して実施可能。30名程度まで。	60	○	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加		
2020004	吉富 博之			○	学習会		○	身近な昆虫を採集してみよう	開催予定箇所周辺を散策し昆虫採集を行う。春から秋のみ実施可能で雨天は実施できない。一度に20名程度まで。	60	○	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加		
2020004	吉富 博之			○	学習会		○	昆虫を採集して名前を調べてみよう	開催予定箇所周辺を散策し昆虫採集を行い、室内に持ち帰り名前を調べる。春から秋のみ実施可能で雨天は実施できない。一度に20名程度まで。	120	○	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加 小学校高学年以上からの実施		
2020004	吉富 博之			○	講演		○	新種はこうして発見されるー昆虫の新種発見についてー	新種はどのようにして発見されるのか、生物分類学とはどういふものかを含め紹介します。	60	○	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクターの準備	○	
2020004	吉富 博之			○	講演		○	生物多様性を守るには？	生物多様性とはどんなものか、我々ができることは何かないのか、についてお話しします。	60	○	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクターの準備	○	
2020004	吉富 博之			○	講演		○	外来種って？	身近で起こっている外来種問題についてお話しします。	60	○	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクターの準備	○	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	スプリング・エフェメラル自然観察会	早春の雑木林下や里山において春の妖精と呼ばれる可愛い花や生き物を探し自然観察会。自然と人の汗で作った里山の理想的な自然の在り方を学びます。	90	○	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加		
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	里山自然観察会	里山の自然林でいろいろな生き物や地域の歴史文化について学びます。	90	○	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加		
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	干潟の機能と大切さについて学ぼう	愛媛県内でも数少なくなってきた干潟。そこにはたくさんの生き物たちが生育しています。干潟の機能と干潟の生物多様性について学ぶ自然観察会です。	90	○	○	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	湿地の生き物について学ぼう	愛媛県内でも数が少なくなった湿地に生育する生き物たちを観察し、湿地の成因と湿地の意義について考える自然観察会です。	90	○	○	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	砂浜の自然観察会	全国でも5番目に長く、美しい愛媛の海岸。そこにはたくさんの生き物たちが育んでいます。全国に誇れる愛媛県の海岸生物多様性についてご紹介します。	45~60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	わくわく水(ウォーター)エコツアー	美しい湧き水の河川やため池でそこに生育する生き物を観察し森里川海のつながりを学びます。愛媛の貴重な水草類を見ることが出来ます。	90	○	○	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	廃墟廃集落廃館ツアー	愛媛県内の廃集落を訪れ、人が関わることで育んだ自然環境を観察します。館山独特の生物や歴史を学びます。道からの観察のみで敷地侵入撮影はNG 最も人気の高い観察会です。	90	○	○	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	日本の歌で綴る里山観察会	唱歌や童謡など里山の自然環境を歌った歌がたくさんあります。豊かな自然の中で自然や歌の意味を解説しながら歌を歌う楽しい観察会です。	60~90	○	○	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	投げ釣り自然観察会	投げ釣りを行うことで魚ばかりでなく、上がってきたアマモ、やごみなど海の環境を考えます。楽しみながら海の環境を知る観察会です。環境省広島事務所主催で実施しました。	90	○	○	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	苔玉教室	種子から発芽させた森の雑木を使い苔玉づくりを行います。単に苔玉を作るだけでなく、コケの性質やコケの役割などについて説明します。	90	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材料費必要	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	ちりめんmonsterを探せ	ちりめんじゃこの中に入っている小さな生き物たちを探します。海の仲間生物多様性と現状について学びます。	45~60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	材料費必要	

登録番号	氏名	分野			内容	場所		プログラム名	内 容	所要時間(分)	対象				派遣対応地域			備考(準備物等)	オンライン対応
		事業	生活	自然		室内	野外				小学	中学	親子	一般	東予	中予	南予		
2023001	戸井 和彦		○		学習会	○		着なくなったTシャツからマイバックを作ろう	着なくなったTシャツをリユースしてマイバックに作り変える活動をお願いします。切る、結ぶ、結ぶなどの作業をして40分くらいで出来上がります。縫う作業はないので、簡単にできます。最後に作ったものの発表会などをします。みんな大満足です。	90	○		○		○	○		着なくなったTシャツ	
2023001	戸井 和彦		○		学習会	○		再生紙を使っておもしろ紙工作	まず、紙について書かれている絵本を読み、紙のリサイクルについて学びます。その後、再生紙を使って動いたり、飛んだりするおもちゃを作ります。作ったもので遊んだり、競争したりします。紙以外の材料と組み合わせで作るメニューもあります。子どもたちは飽きるまで遊ぶことを通してリサイクルについて考えることができます。	60			○		○	○	○	はさみ マジック セロテープ	
2023001	戸井 和彦		○		学習会	○		かつお節削り体験を通して海の環境を考えよう	健康によい和食の素材であるかつお節ができるまでの過程をテキストなどで学びます。その後、実際に削り器を使ってかつお節(枯節)の削り体験をしたり、飲み比べをしたりすることを通して、海の豊かさを守っていくことの大切さに気付いていきます。	60	○	○	○		○	○		軍手 エプロン マスク 三角巾(コロナ等の影響で体験ができない場合があります)	
2023001	戸井 和彦		○		学習会	○		プラスチックを再生する仕組み	ペットボトルのラベルからしおりを作ったり、植物油のエコランプを使って発泡スチロールを活かしたスタンプを作る実験などを通してプラスチックの再生について考える発泡スチロール紙を使った「飛ぶツバメ」の政策も行う。	60~90	○	○	○		○	○		新聞 湯、アイロン、ラベルのついたペットボトル	
2023001	戸井 和彦		○		学習会	○		植物の種の飛ばし方	自然界の身近な植物の隠れた特徴を絵本、図鑑などで知り、それを画用紙や折り紙などを使って再現し、自然のすばらしさを感じます。	50	○	○	○	○	○	○		はさみ ノリ など	
2023001	戸井 和彦		○		学習会	○		紫外線から身を守ろう	外で活動することの多い子どもに、紫外線について知り、身を守る方法を学ぶ。紫外線チェッカー、ビーズなどを活用した実験、日焼け止めの活用についても体験をする。	45	○	○	○		○	○			
2023002	山中 裕加		○		学習会	○		若竹を収穫して竹林整備に参加しよう!	・竹林の現状と整備・活用の必要性の講義(竹林を放置する問題点と整備の方法、公民でできること、活用事例等) ・若竹の収穫の意味と収穫方法のレクチャー(参加者に実際に収穫してもらえます。 ※参加者の年齢に応じて講義や実習の内容を調整いたします)	120	○	○	○	○	○	○		※4月末~5月中旬のみ開催 準備物:軍手、汚れてもいい服(長袖長ズボン)、水分	
2023002	山中 裕加		○		学習会	○		竹を加工して、マイ食器を作ろう!	・竹林の現状と整備・活用の必要性の講義(竹林を放置する問題点と整備の方法、公民でできること、活用事例等) ・竹材を活用した製品づくりワークショップ 竹箸、竹コップ、おもちゃ(モルック)、竹灯籠、竹籠ご飯、など ※参加者の年齢に応じてワークショップ、講義の内容を調整いたします	120	○	○	○	○	○	○		準備物:軍手、長袖長ズボン ※竹材の準備が必要な場合、材料代と加工費がかかります(費用は加工程度と量による)	
2023002	山中 裕加		○		学習会	○		竹パウダー段ボールコンポストを試してみよう!	・竹林の現状と整備・活用の必要性の講義(竹林を放置する問題点と整備の方法、公民でできること、活用事例等) ・竹パウダー段ボールコンポストの使い方ワークショップ 嫌気発酵させた竹パウダー(竹幹をチップパーでパウダー状に粉砕したもの)とモミガラクワンなどを基材とした生ごみコンポストの使い方	90	○	○	○	○	○	○		準備物:なし 参加者に基材(竹パウダーとモミガラクワン)を配布する場合、準備可能です(有料)	○
2023002	山中 裕加		○		講演	○		地域資源を活用した商品開発について	・山林資源を活用した六次産業化について 自社商品「ママチヨ」の商品開発事例を元に講義 ・竹林を活用した商品開発のワークショップ	60~150	○	○	○	○	○	○		ワークショップ内容は参加者に応じて要事前相談	○
2024001	田村裕太郎		○		学習会	○		石鏡の森で自然遊びを楽しもう	自然の中で遊ぶってどうすればいいの、様々な自然の遊び方についてレクチャーし、実際に遊んでみます。遊ぶことで自然との距離が近くなり、環境への意識向上を図ります。	希望に合わせて	○	○	○	○	○	○		場所は石鏡ふれあいの里にて実施、事前打ち合わせが必要。	
2024001	田村裕太郎		○		学習会	○		季節ごとの採って食べるを楽しもう	春は山菜や椎茸、夏は野菜、秋は木の実、冬は果実等、季節ごとの採って食べるを実践に行い、自然や食の大切さを改めて認識できる機会をつくります。	希望に合わせて	○	○	○	○	○	○		場所は石鏡ふれあいの里にて実施、事前打ち合わせが必要。	
2024001	田村裕太郎		○		講演	○		限界集落の現状とやるべきこと	石鏡山麓大保木地区の例を用いて、限界集落と呼ばれる集落の課題の多い現状や、課題などのように向き合うのかについて実践事例を解説します。	希望に合わせて	○	○	○	○	○	○		実際に現場で実施することでフィールドワークも可能。	○
2024002	武智 礼央		○		学習会	○		水辺の昆虫調査!	春(3~6月)または秋冬(10~2月)に、安全が確保できるため池や河川で水生昆虫の調査。エトトンボ類の幼虫や水生カメムシ類、水生甲虫類を採集・観察し、それぞれの昆虫の特徴などのように棲み分けを行っているか、また、種構成を知ることでその水辺の多様性の高さ、環境調査の大切さを学びます。 ※トンボ類(成虫も)に絞った内容の学習会も可能。 ※水辺の近くの公民館や学校などの施設内で、30分程度スライドを用いた座学ができるハイブリッドの学習会が理想。	120	○	○	○	○	○	○		水辺で活動できる服装 親子で最大30名 教員等補助がいる場合は、児童(生徒)のみで30名程度も可	
2024002	武智 礼央		○		学習会	○		夜の鳴く虫の声を楽しもう	秋(9,10月)の暗い時間帯に、安全が確保できる草地や林縁でコオロギ・キリギリスの鳴き声を聴いたり、鳴いている様子を観察したりして、どのような鳴き声をしているかやどのような環境に棲んでいるか、また、それぞれの種の飼育の仕方などを学びます。 ※水辺の近くの公民館や学校などの施設内で、30分程度スライドを用いた座学ができるハイブリッドの学習会が理想。	120	○	○	○	○	○	○		野外で活動できる服装 懐中電灯が必要 親子で最大30名 教員等補助がいる場合は、児童(生徒)のみで30名程度も可	
2024002	武智 礼央		○		学習会	○		身近な昆虫を見つけて学ぼう	春(4~6月)または秋(10,11月)に、身近な野山や田畑、公園などでよく見られる昆虫を観察・採集し、それらの形態・生態的特徴や危険性などについて学びます。近年増加傾向にある外来種や南方系の種についても紹介します。 ※散策場所近くの公民館や学校などの施設内で、30分程度スライドを用いた座学ができるハイブリッドの学習会が理想。	120	○	○	○	○	○	○		野外で活動できる服装 親子で最大30名 教員等補助がいる場合は、児童(生徒)のみで30名程度も可	
2025001	懸田 剛		○		学習会	○		豊かな里山の湿地帯ビオトープに住む生き物を観察しよう。	内子町大瀬南の湿地帯ビオトープで、まちなかでは出会えない、絶滅危惧種を含めた様々な動植物を観察しましょう。観察後に現場の自治会館を借りて湿地帯ビオトープに関する座学・対話型の学習会を組み合わせることも可能です。	120~240	○	○	○	○	○	○		開催は大瀬南の現場に起こし頂く必要があります。準備についてお打ち合わせが必要です。	
2025001	懸田 剛		○		講演	○		豊かな湿地の魅力と役割を考えよう	内子町で管理している休耕田を使った湿地帯ビオトープを題材にして、豊かな湿地に住む生き物の紹介、都市部の水田との比較、湿地が環境に与える役割についてお話します。	60	○	○	○	○	○	○		内容に付いて応相談	○

登録番号	氏名	分野			内容	場所		プログラム名	内 容	所要時間 (分)	対象					派遣対応地域	備考(準備物等)	オンライン対応		
		事業	生活	自然		室内	野外				小学	中学	親子	一般	東予				中予	南予
2025001	懸田 剛			○	講演	○		誰でもできる自宅のビ オトープ作りの魅力と 管理のコツを学ぼう	近年、本も出版されて全国的に話題になっている「自宅で湿地帯ビオトープ」について、その魅力、作り方、注意点、をお伝えします。	60									内容に付いて応相談	○
2025001	懸田 剛			○	学習会	○		プラ舟ビオトープ 作ってみよう	プラ舟による湿地帯ビオトープで生き物の住処を作ろう。産学+実際のプラ舟を使ったビオトープの設計を行い、実際に作ってみたい。学校で開催する場合は、グループごとに分かれてワークを行います。講義回を分けて、(1)産学+設計、(2)制作、(3)(1月後に)観察と解説、という形式も可能です。ご要望をお伝え下さい。	60~120									プラ舟は事前準備し、動植物はできれば近くの小川や水田での採集が望ましいです。季節は春〜秋	
2025002	村上 真琴			○	学習会	○		心地よい地球へ 私たちが今出来る一 歩を考えよう	○海や川からの漂着ゴミから見える今の地球のお話とディスカッション 私たちの小さな世界から変えていくことが未来につながる〜今出来るアクション、小さな疑問や問題についてみんなで考えよう〜(屋内・野外どちらでも可) みんなで絵を描いたり漂着ゴミでのワークショップも相談により可能	60~120									スクリーン プロジェクター 長机 その他漂着物等 事前打ち合わせが必要	○
2026001	井原 聡博			○	講演	○		ごみ問題を考えよう (食品ロス)	「ごみ問題」について、消費者としての視点から「食品ロス」の問題を取り上げ、私たちの食生活のスタイルが、いかに環境に負荷をかけているか気づかせる。また、これまでの自分の食生活を振り返り、「フードロスをなくすための我が家の取組」を考えると、地域での生活環境にも目を向けさせ、よりよい地域へと変えていくために、まず自分ができることから行動していこうとする意欲を持たせる。	60									・時間対応可 ・電子黒板 ・スクリーン ・プロジェクター	
2026001	井原 聡博			○	講演	○		ごみ問題を考えよう (衣服ロス)	「ごみ問題」について、消費者としての視点から「衣服ロス」の問題を取り上げ、ファストファッションをはじめとする私たちの衣生活が、いかに環境に負荷をかけているか気づかせる。また、これまでの自分の衣生活を振り返り、「衣服ロスをなくすための我が家の取組」を考えると、地域での生活環境にも目を向けさせ、よりよい地域へと変えていくために、まず自分ができる環境に配慮した行動から始めてみようとする意欲を持たせる。	60									・時間対応可 ・電子黒板 ・スクリーン ・プロジェクター	
2026001	井原 聡博			○	講演	○		「暮らしを支える水に ついて考えよう」	「暮らしを支える水」について、消費者教育や防災教育の視点から、水がもたらす恵みや災害、水循環などについて考える。また、自分の生活スタイルを振り返り、家庭からの生活排水がいかに湖沼水や河川水に大きな負担をかけているか気づかせる。さらに、地域の水利利用の状況にも目を向けさせ、私たちの暮らしを支える水を守るために、今自分ができることから始めてみようとする意欲を持たせる。	60									・時間対応可 ・電子黒板 ・スクリーン ・プロジェクター	
2026001	井原 聡博			○	講演	○		SDGsと環境問題	SDGsの環境関連の目標(目標6:安全な水、目標13:気候変動、目標14:海の豊かさ、目標15:陸の豊かさ)について、私たちの日常生活の中で、どのようなアクションが起これるか目標ごとに事例を示し、今自分ができる行動について考えていく。特に、「食品ロス」や「衣服ロス」、「海洋プラスチック」、「生活排水」などの問題や環境保護につながる「認証ラベル」についての事例を取り上げる。	60									・時間対応可 ・電子黒板 ・スクリーン ・プロジェクター	
2026001	井原 聡博			○	講演	○		再生可能エネルギー と環境保護	再生可能エネルギーの「メリット」と「環境保護視点からの課題」や「環境のトレードオフ」の考え方を知り、気候変動抑制と環境保護との両立を目指す取組について考えていく。また、「エネルギーの消費量そのものを減らす」という視点をもつことも、環境保護を進める上では大事であることを理解させるとともに、「どのエネルギーを、どこで、どう使うか」を考えさせ、「環境のトレードオフ」につながる提案も行わせる。	60									・時間対応可 ・電子黒板 ・スクリーン ・プロジェクター	
2026002	甲斐 貴光			○	講演	○		土のひみつと農業の つながりを知ろう	土壌の役割や性質について講義形式で解説し、団粒構造や土はけ、保水性などの基礎知識をわかりやすく伝える。地域の農業と環境との関係にも触れ、土壌の重要性を理解できる講演を行う。	60~90										
2026002	甲斐 貴光			○	講演	○		身近な自然から考える 環境とくらし	地域資源や身近な自然を題材に、環境保全の意義や持続可能な社会について講義形式で解説する。具体的な事例を交えながら、環境への関心を高め、日常生活での行動変容につなげる内容とする。	60~90										
2026002	甲斐 貴光			○	講演	○		環境にやさしい農業 のしくみを学ぼう	有機農業や減農薬栽培の考え方と技術について講義形式で紹介し、環境に配慮した農業の意義を解説する。土づくりや生物多様性との関係にも触れ、持続可能な農業のあり方を理解する講演とする。	60~90										
2026003	加藤 忠義			○	学習会	○		里山の生き物たちを 学ぼう	身近な里山に出かけ、野鳥、昆虫、植物など観察し、どんなところにどうい生物が生息しているか、また、その生物達の生態系を自然界のしくみを解説します。	90~120									野外で活動できる服装 20人前後	
2026003	加藤 忠義			○	学習会	○		環境保全型農業の 有り方	耕作放棄地を活用する事によって地域全体の生態系が省かれた町作りであり、それを多くの方達に知ってもらいます。	受相談									準備物について事前に打ち合わせ 20人前後	
2026003	加藤 忠義			○	学習会	○		化学肥料、農業に頼 らない農業を行っている 農園で生態系を体験しよう	化学肥料、農業を使わない事によって、植物自体が生き残る為、それらに対応するように育つて来ます。その対応方法を体験すると共に解説します。	90~120									野外で活動できる服装 20人前後	
2026004	石井 隆志			○	学習会	○		昆虫がいる環境を知 ろう	身近な里山や森林に出かけて昆虫類の観察採集をしながら、マナを守ったり、環境への配慮をしたりする関わり方への理解を深めます。	50									野外で活動できる服装 20~30名程度	
2026004	石井 隆志			○	学習会	○		昆虫の育て方を考え よう	クワガタムシやカブトムシの幼虫や成虫を触ったり、育てるための道具や環境を実際に準備したりして、昆虫飼育のコツを解説します。	50									準備物について事前に打ち合わせ必要	
2026004	石井 隆志			○	学習会	○		昆虫標本を作ろう	クワガタムシやカブトムシの標本を作ることで、昆虫の魅力を伝えます。	90~120									準備物について事前に打ち合わせ必要	
2026005	中平 容子			○	講演	○		里山のトレッキング (森について学ぶ)	里山に入り、植物や動物など森に住む生き物たちの暮らしを観察し、今、地球で、起きている環境問題への理解を深めます。	60~90									野外で活動できる服装 15~20名	

登録番号	氏名	分野			内容	場 所		プログラム名	内 容	所要時間 (分)	対 象					派遣対応地域			備考(準備物等)	オンライン対応
		事業	生活	自然		室内	野外				小学	中学	親子	一般	東予	中予	南予			
2026005	中平 容子			○			○	自然と遊ぼう	自然物を使用し、ネイチャーゲームを行います。コミュニケーションをうながす目的もあるので、新学期やグループ活動に最適です。植物知識もつきます。	30~60	○	○	○	○	○				野外で活動できる服装 15~20名	
2026005	中平 容子			○			○	竹林整備&工作	放置竹林の整備を行います。竹の生能について学びます。竹を使った工作(はし、コップ、流しそうめんなど)も行えます。	120~180	○	○	○	○	○				野外で活動できる服装 15~20名	
2026005	中平 容子		○				○	身近なもので草木染	たまねぎの皮を使用し、布を染めます。生活で出るものを使用し、活用する事でエコライフを学ぶことができます。	60~90	○	○	○	○	○				野外で活動できる服装 15~20名	
2026005	中平 容子			○			○	野花、野草を食べる会	身近な野花や野草を摘み、食べ物を指導し、おいしくいただけます。	120~180	○	○	○	○	○				野外で活動できる服装 エプロン 15~20名	
2026005	中平 容子			○			○	ロープワーク教室	野外活動や災害の時に役に立つロープワークを学びます。	120~180	○	○	○	○	○				野外で活動できる服装	
2026006	藤山 周治			○	学習会		○	サボニウス型風車を作るう	サボニウス型風車を作り、従来の風車との違いを学ぶ	50	○	○	○	○		○	○			
2026006	藤山 周治			○	学習会		○	水質調査	バックテストを使い、いろいろな場所の水質を調査する。	50	○	○	○	○		○	○			